



菊川市議会議員長  
**松本 正幸**

市民の皆様方には、輝かしい令和4年の新春を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

本市議会に対しましても、日頃からお寄せ頂いておりますご支援とご協力に対し、議員一同、深く感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、1月には任期満了に伴う市議会議員選挙により、新人議員6人が加わり、新たな体制でスタートを切りました。しかしながら、今までに経験したことのない新型コロナウイルス感染症の拡大という世界規模の災害に直面し、非常に難しい議会運営を迫られた1年でありました。

本市の状況を見ますと、新型コロナウイルス感染症などの社会情勢の変化を踏まえ、令和4年度から新たに取り組む3つの重点プロジェクトとして「第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「住みたいまちの実現」、「ポストコロナ社会への対応」が設定され、次世代に向けての「地球環境づくり」となりますSDGsや「CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ」を目指す脱炭素社会、デジタル化の推進といった事業が展開されます。

市議会といたしましても、本市の特徴を生かし、さまざまな主体が役割分担のもとに、共に考え、汗を流し、一体となって地域課題を解決する市民協働を、なお一層進め、誰もが住んでみたいと思う、個性と活力あるまちの実現に向けて取り組んでまいります。

結びに、この1年が市民の皆様方にとりまして平安で、そして笑顔で振り返ることができるよう、心よりお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

# 令和四年 新年のご挨拶



菊川市長  
**長谷川 寛彦**

令和4年の新春を迎え、市民の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症は収束の兆しを見せず、猛威を振るった1年でありました。8月から9月にかけて静岡県に緊急事態宣言が発令され、本市でも感染者数が急増し、危機的状況となりました。その後、ワクチン接種と皆様の感染防止へのご協力により、感染者の発生も落ち着き、市内でも少しずつ行事や催しが再開されつつありましたが、現在はオミクロン株による急速な拡大により、感染第6波に突入したとみられております。厳重な警戒が必要な状況でありますので、引き続き感染防止対策の徹底をお願いいたします。

長引くコロナ禍は、世の中の考え、価値観に様々な変化をもたらしました。その一つとして、都市部から地方に目が向けられるようになったことは、本市にとってプラスの要素であります。地方への移住を考える方々に菊川市を選んでいただけるよう、豊かな自然や温暖な気候、都市部への良好なアクセス環境など、本市が持つポテンシャルや様々な魅力を全国に発信するとともに、より住みよいまち菊川を築いていきたいと考えております。

今まで当たり前であった日常が一変した、目に見えないウイルスとの戦いが今年こそ収束に向かうことを願いつつ、地域コミュニティの再構築に取り組み、「さらに前へ！住みたいまち菊川市!!」の実現に向け、引き続き歩みを進めてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして希望に満ちた輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新春のご挨拶といたします。